

平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 2016 年 6 月 20 日

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座・教授
氏名 Name	川北 (安生) 恭子
専門分野 Academic Field	フランス語学

平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	フランス語連結詞				
<p>研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>(1) フランス語連結詞研究の一環として、昨年度口頭発表した en tout cas の論文をまとめる。既に分析・考察してきた après tout. de toute façon, quoi qu'il en soit を含めて、推意の介入・談話のテーマという観点から比較対照を行う。また、検討範囲の連結詞を拡大していくべきと考えている。更に、上記連結詞と日本語の対応語との対応関係を観察し、日仏語の連結詞・接続詞を通して論証的思考表現方法・論理構成の相違点を分析する。</p> <p>(2) フランス義務教育段階での国語教育、特に 小学校における国語教育を、実際の教科書および教師用手引書を分析する。今年度は、特に文法面の習得内容や習得方法に焦点をあて、外国語としてのフランス語教育への応用を検討・模索する。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	フランス語学	外国語教育	対照言語学		
キーワード Keywords*2	連結詞	推意	接続詞	語用論	翻訳

※共同研究可能な分野は、別表科研費細目表の細目名に地域や時代を付して記入願います。